

## ごあいさつ

平素より私ども鳥取銀行に対しまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。当行は1949年の創立以来、鳥取県に本店を置く唯一の地方銀行として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。

これも皆さまの温かいご支援のたまものと深く感謝しております。

このたび、2023年度中間決算の内容等について詳しくご紹介する「鳥取銀行2023年9月期 中間期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧のうえ、当行へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当行では、2021年4月より中期経営計画「共創Innovation」をスタートしております。本計画では、当行の経営の基本理念である「地域社会への貢献と健全経営」の考え方のもと、重点戦略として掲げた4つのイノベーションに取組むことで、新型コロナウイルスという困難を乗り越え、明るく持続可能な社会を創造してまいります。

また、各施策を実現するための基盤戦略として、「人財強化」と「生産性向上」にも取組み、「地域を支え、明るい未来を創造するコンサルティングバンク」を目指してまいります。

今後とも皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年1月  
取締役頭取 入江 到

経営理念 ▶ 地域社会への貢献と健全経営

中期経営計画

# 共創 *Innovation*

目指す姿 ▶ 地域を支え、明るい未来を創造するコンサルティングバンク

計画期間 ▶ 2021年4月～2024年3月(3年間)

● 重点戦略：4つのイノベーション

1

地域イノベーション  
地域に活力を (地方創生)

自立共生のまちづくりや  
地域課題解決型の起業家を育成

3

コンサルティングイノベーション  
お客さま起点のサービスを  
(コンサルティング)

お客さまに「ありがとう」と言っていただけ  
コンサルティングサービスを実践

2

経営改善イノベーション  
コロナに打ち克つ強い企業を  
(経営改善支援)

アフターコロナにおける  
企業の経営改善支援に重点的に取組み

4

デジタルイノベーション  
便利で快適な環境を (デジタル化)

リアルとデジタルの融合により  
高品質なサービスをご提供

● 計数目標

法人ソリューション成約件数	1,300件	(3年間累計)
行内プロフェッショナル人財	110人	(23年度末)
コアOHR	84%程度	(23年度)
コア業務純益	17億円	(23年度)

● 基盤戦略

### 人財強化

やりがいに満ち溢れ、  
挑戦し続けるプロフェッショナル人財を育成

### 生産性向上

選択と集中により  
生産性向上を図りベース収益力を強化

## 会社概要(2023年9月30日現在)

---

本店所在地	……	鳥取市永楽温泉町171番地
前身銀行設立	……	1921年(大正10年)12月15日
創　　立	……	1949年(昭和24年)10月1日
資　本　金	……	90億円
店　舗　数	……	65カ店：県内53カ店、県外12カ店 (その他1事務所)
従　業　員　数	……	662人
総　資　産	……	1兆1,016億円
預　　金	……	1兆10億円
貸　出　金	……	8,699億円

## 目次

---

連結情報	……	2
単体情報	……	14
中間財務諸表	……	15
損益の状況	……	19
経営効率	……	20
預金	……	21
融資	……	22
有価証券	……	24
時価情報	……	25
デリバティブ取引	……	27
電子決済手段	……	27
暗号資産	……	27
資本・株式	……	28
自己資本の充実の状況等について	……	29
中小企業の経営の改善及び地域の 活性化のための取組みの状況	……	39

■当行は、2022年9月中間期および2023年9月中間期の中間連結財務諸表ならびに中間財務諸表について、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき太陽有限責任監査法人の中間監査・監査証明を受けております。本ディスクロージャー誌の財務諸表は、上記の財務諸表に基づき、記載内容を一部追加・変更するとともに、様式を一部変更して作成しておりますが、本ディスクロージャー誌そのものについては監査を受けておりません。